

## 真剣に取り組めるわけは…

### ＜個人競技が団体競技に＞

「がんばー」「速い速い」「2周目だよー」「ペース守って!」「○○ちゃん、いけるいける」……様々な声がかかる中、子どもたちはゴールを目指しました。マラソン大会当日は寒い一日でしたが、時折日が差して走りやすい陽気になったと思います。

- ・順位にこだわって走った児童
- ・自分の記録を縮めることを目指した児童
- ・完走を目標にした児童
- ・苦しくても歩かないことを目標にした児童
- ・ ……………

子どもたちはいろいろな思いで走っていたことでしょう。体調が良く調子も上がっていれば、多少苦しくても自信をもって走れたと思いますが、そうでない時は途中とても苦しかったことと思います。息が苦しい、おなかが痛い、抜かれてしまった、スピードが出ない、友だちはあんなに先に行ってしまった……。走っている時は気持ちが揺らぐものです。こういう気持ちがあると不安は大きくなっていき、自分のペースを守りながら走るのはとても勇気が必要で難しいものになります。どんな状況でも焦らず気持ちを落ち着かせながら走る、ペース配分を考えてスピードを上げたり押さえたりする、最後は力を振り絞ってゴールするなど、マラソン大会はとても頭を使う競技だと感じました。

今回のマラソン大会で印象に残ったのは、友だちを応援している姿です。ただ単に「がんばれー」ではなく、「△▽ちゃん、あと1周だよ。いけるいける」というような、気持ちのこもった応援が目立ちました。ゴールするとたたえ合う様子も見られました。自分の出番が終わればそれで終わりではなく、クラスや学年、他学年の友だちと励まし合う様子がありました。また子どもたちからは「昨日カツを食べたよ」「○○をたくさん食べた」と料理の話も出て、ご家庭では食事の面でも子どもたちを応援していただいていることが分かりました。友だちの応援や家族の応援によって子どもたちは支えられていると感じ、そのことが更なるエネルギーとなって当日の頑張りになったのだと思うのです。思うように走れなかったせいか、ゴール後に涙ぐむ子どももいましたが、周りの友だちと触れ合う中で次第に普段の様子に戻っていきました。陸上競技は個人競技と言われますが、周りのみんなで走る人を応援する、支える、助け合う、喜び合う…、これは立派な団体競技になっていると感じました。子どもたちが真剣に走る姿、苦しい中ゴールを目指す姿、互いに励まし合う姿、たたえ合う姿、ほほえみ合う姿……、そんな様子から応援している私たちも気持ちが熱くなり、たくさんエネルギーをもらいました。「友だちが応援してくれている」や「家族が支えてくれている」という安心感から、走るエネルギーがいつも以上に湧き上がってくるのですね。真剣になる姿、とても立派で美しかったと思います。寒い一日でしたが、応援に駆けつけてくださったり、食事や健康面に気を配っていただいたり、保護者の皆様ありがとうございました。

